

市議会5会派 それぞれの角度から市政を Check !

代表質問

各会派を代表して5人の議員が行った、代表質問及びその答弁の要旨を掲載しています。

SOKA新政
鈴木由和



障がい者のグループホームの整備を

問 障がい者の方々の重度化・高齢化に対応するための居住の場となるグループホームの今後の整備は？

答 障がい者の高齢化、重度化及び「親亡き後」を見据え、障がい者やそのご家族が地域で安心して生活を送ることができるよう、令和8年度をめどに高機能なグループホームを整備する。

公立保育園耐震化の実施

問 令和5年度の公立保育園耐震化予定と今後のスケジュールは？

答 令和5年度は、せざき保育園、にしまち保育園の耐震補強工事、新栄児童センターをしんえい保育園の仮設園舎に改修するための設計業務を実施する。令和7年度に予定している、しんえい保育園の耐震補強工事で公立保育園の耐震化が完了する。

英検の検定料補助対象の拡大を

問 英検の検定料補助を中学2年生も対象にするなど、補助対象を拡大することについて市の考えは？

答 現在、中学3年生を対象に補助しているが、その意義と効果を総合的に判断しながら、グローバル人材の育成に向け、対象拡充を検討する。

的に判断しながら、グローバル人材の育成に向け、対象拡充を検討する。

特別支援学級の支援員増員を

問 障がいのある児童・生徒への支援充実のため、特別支援学級に支援員を増員する考えは？

答 特別支援学級に特別支援教育支援員を配置し、児童・生徒に寄り添った支援を行っているが、引き続き、一人ひとりの特性に合わせた支援の充実を図るとともに、特別支援学級の現状に合わせた支援員の配置となるよう配慮していく。

自由市民
田中宣光



地域福祉の充実には職員体制の強化が重要である！

問 離職者が後を絶たない現状がある。福祉事務所職員をしっかりと確保し、負担軽減を行うは、質の高い福祉サービスの提供に繋がると考えるが、職員体制の強化と職場環境の改善については。

答 必要な職員体制を確保できるよう取り組むことと併せて、時間外勤務の縮減や年次有給休暇の取得促進といった「働き方改革」、職員の配置や人材育成など、市役所全体の対

策に取り組む。

交通空白地域の解消を！

問 コミュニティバスの運行開始から8年目を迎えるが、未だ草加市内の交通空白地域の解消には至っていない。どの地域に住んでいようと、すべからくその恩恵を享受できる環境整備をしなければならないと考えるが。

答 現在の交通不便地域は市域の約8%となっている。バスの運行が困難な幅員の狭い道路の多い地域などについては、バスに替わる新たな交

通手段などの検討を進めていく。

通手段などの検討を進めていく。

通手段などの検討を進めていく。

公明党
広田丈夫



脱コロナ下での産業政策の推進を

問 産業政策について、脱コロナに向けての課題を整理し新たな政策を立案、支援すべき。

答 「事業者伴走型創業・再展開支援強化事業」による専門人材を活用した伴走支援や「経営革新チャレンジ支援事業」などを通じて、新たな事業展開を進める市内事業者を積極的に支援していく。

出産・子育ての更なる支援を

問 出産・子育て応援給付金事業を継続していくのか。

答 すべての妊婦・子育て世帯が安心して生活できる環境整備が喫緊であるため、国が昨年12月、事業を継続的に実施していくことを示している。草加市でも、2月1日より事業を開始し、子育て世帯が安心して子育てができるよう今後も支援を継続していく。

市立病院の産婦人科の早期の再開

問 市立病院の産婦人科再開の現状と展望について。

答 今年1月より、非常勤であるが産婦人科医師1名にて、婦人科にお

いて新規患者の外来受け入れを再開した。産科についても、早期の再開を目指すべく、病院事業管理者などから話を聞いている。

学校の速やかな老朽対策を

問 学校の老朽化対策について。

答 現在、小・中学校を含む全ての公共施設のあり方に関する方向性を示す「草加市公共施設等総合管理計画」の改訂作業が最終段階を迎えている。改訂後において、小・中学校の更新時期に合わせて施設の更新を進めていく。

市民共同
斉藤雄二



公共施設の電気代が1.5倍に高騰

問 公共施設における、電気代の上昇について令和5年度は前年度と比較し、総額でいくら増えると試算しているのか。

答 令和5年度予算の編成では、国の施策や東電の動向、社会情勢など今後の先行きが見込めないことから光熱費の上昇を今年度のおよそ1.5倍の5億円程度と想定。

草加駅を始発・終着駅に！

問 草加駅を始発終着駅とするよう東武鉄道に働きかけるべきでは。

答 市民の皆様への利便性向上のため鉄道事業者に対し、草加駅が始発終着駅となるよう要望する。

音楽都市の発展へ

問 ストリートピアノは、草加市でも駅や市庁舎など設置するべきでは

答 音楽都市宣言をしている本市としては、市内各所で音楽が聴こえるまちを目指していることからその方策の一つとして引き続き検討する。

市立病院の改革を！

問 市立病院の財政再建及び病院改革に向けた取り組みは？

答 新年度に経営強化プランを作成する。このプランに関して病院事業管理者と十分に意見交換をしながら進めてまいります。

松原団地建て替えなどによる税収増

問 松原団地建て替えや草加柿木フーズサイトによる税収への影響は？

答 主に固定資産税において、松原団地の建て替えは3億4,500万円、草加柿木フーズサイトで新築などにより2億1,250万円の増額を見込んでいる。

立憲民主党
菊地慶太



生活困窮世帯への支援拡充を！

問 コミュニティフリッジを草加市が実施すべきでは？

答 コミュニティフリッジは、様々な事情により、生活に困難を抱える人に無償で食料品を提供する取組であり、誰一人取り残さない福祉を掲げる草加市においても重要である。しかし、運営費の捻出や提供する食料品の安定的な確保など、事業継続における課題もある。

このため、事業PRと運営費等の確保の視点からのクラウドファンデ

ィング型ふるさと納税の活用など、事業継続を支援する仕組みづくり等について、積極的に検討する。

安全・安心な生活道路に！

問 通学路等の安全対策は？

答 第5期埼玉県通学路整備計画において、危険箇所と位置付けられた通学路について、令和4年度から令和8年度までの5か年計画で安全対策を進める。

生活道路については、ゾーン30プラスや市民の皆様からご指摘のあった安全対策につきましても、引き

続き、早急な対応に努めていく。

ボール遊びできる公園の整備を！

問 子ども達がボール遊びできる公園を増やしていくべきでは？

答 騒音や危険性などを踏まえ、一定の広さがあり、住宅地に隣接していない公園を新たに整備する際には、地域や周辺住民の方々による話し合いに応じて、ネットやフェンスを設置し、ボール遊びができるような整備を検討する。